

思いがけず蘇った、イタリア旅行二つの思い出。

ミラノ大聖堂と最後の晚餐

Utubeで「アンドレア・ボチェッリ・ミラノ大聖堂(Duomo)で無観客の復活祭コンサート」を見ました。

Music For Hope and Stay Home と題する25分の録画で、世界中の数百万人に届いたとのこと。

無人の大聖堂内で、オルガン奏者のみのコンサートです。

熱唱をバックに、人影の無いまた疎らな Duomoの内外・アーケード街・スカラ座・ベニス、そして世界の街並みが映る。

2月初め 今から思えば辛うじて訪ねることが出来た旅の光景が、
頑張っ
楽しかった思い出とは裏腹に蘇りました。 **FORZA ITALIA**

2か月前 ミラノの光景

ミラノ大聖堂
大変な賑わいでした

大聖堂内
(動画)



アーケード街



スカラ座

蘇った ミラノのもうひとつの世界遺産

復活祭とともにキリストに因む、ダビンチ「最後の晚餐」の話です。

DUOMOから近いサンタマリア・グラツィエ教会に、この絵はあります。

絵の解説ではなく、この絵が辿った波乱の場面と**蘇りの話**です。

絵は 教会に隣接する修道院食堂の北側の壁に、描かれています。

食堂は18世紀末ナポレオン遠征時に、馬屋として使われたそうです。

また 1943年第二次大戦でミラノの43%が空爆で破壊された時、絵の3m前に爆弾が破裂し食堂は瓦礫の山となり、一時野ざらしとなった。

絵は多少の損傷は受けましたが奇跡的に難を免れ、1977年から22年をかけて一人の女流修復家の手によって蘇ったのです。

(動画)

サンタマリア教会 最後の晚餐



見学裏話

チケットは予約困難だったが、月一の閉館後入場券を日本からゲットできた。通常は25人単位で15分位だが、5人で1時間近く見学できて写真もOKだった。ツアー夜食のミラノ風カツレツは食べ損なったが、貴重な体験でした。

